

第1回安曇野市環境審議会 会議概要

1	会議名	第1回安曇野市環境審議会
2	日時	令和3年4月23日(金) 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会場	本庁舎 大会議室
4	出席者	環境審議会 藤澤昇 会長、植松晃岳 副会長、樋口嘉一 委員 横田耕太郎 委員、大澤昇治 委員、中沢清一 委員、畑中健一郎 委員 河上賢 委員、岡江正 委員、猪又悟 委員、原弥生 委員、平林昭敏 委員
5	市側出席者	市民生活部 山田部長 廃棄物対策課 野口課長、廃棄物対策担当 豊田係長、神谷係長 環境課 山口課長、環境保全係 百瀬係長、空家対策室 内川室長 環境政策係 丸山係長、高山主事、古屋主事
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0名
8	会議概要作成年月日	令和3年4月26日

協 議 事 項 等

【進行表】

1. 開会
2. 委嘱書交付
3. 会長挨拶
4. 事務局紹介
5. 報告事項
  - (1) 令和3年度環境課及び廃棄物対策課の当初予算概要について【資料1】
  - (2) 令和3年度安曇野市一般廃棄物処理実施計画について【資料2】
  - (3) 安曇野市空家等対策計画について【資料3】
6. その他
7. 閉会

【議事】

報告事項(1) 令和3年度環境課及び廃棄物対策課の当初予算概要について  
 <環境課・廃棄物対策課から説明>

報告事項(2) 令和3年度安曇野市一般廃棄物処理実施計画について  
 <廃棄物対策課から説明>

報告事項(3) 安曇野市空家等対策計画について  
 <環境課空家対策室から説明>  
 <質疑・意見>

(委員) 県や国ではゼロカーボン等に取り組んでいるが、安曇野市として取り組んでいくことは何か。また、ロードマップや目標値は。

(環境課) 広報での周知やクールチョイス、省エネ診断などを行ってきた。県と意見交換を行っており、今後も県や国と連携を図って進めていく。市の事務事業に関する地球温暖化防止実

行計画や地球温暖化対策実行計画の排出削減目標の数値を見直していく。今年度後半から来年度にかけて第2次安曇野市環境基本計画の中間見直しを実施する際に、地球温暖化に対する市としてのロードマップも示していく。

(委員) 事業系のごみ排出量が増えているので、積極的にごみ減量化再利用対策事業を進めてほしい。

(廃棄物対策課) (市の) 市民生活部の重点事業として取り組んでいく。成果に対してはまた報告をしていく。

(委員) 木くずのサーマルリサイクルの関係で、チップ化されたものはバイオマスとして塩尻に運ばれるという解釈でよいか。

(廃棄物対策課) 松本市に所在する事業者が糸魚川に搬出して、セメント会社の燃料として搬出している。

(委員) 一般廃棄物収集運搬業許可業者の一覧が載っているが、この業者は全て安曇野市が委託している業者ということによいか。

(廃棄物対策課) 全て市の委託ということではなく、市内に所在する事業者が直接契約を結んで処理をしている業者もある。一覧に記載されている業者は、市に申請をいただいている許可業者である。

(委員) 朝の通勤ラッシュ時のパッカー車や運搬車のモラルがよくない。行政側から業者に指摘していただきたい。

(廃棄物対策課) 機会をみて、徹底を呼び掛けていく。

(会長) ごみ回収の時間帯を1時間ほど遅らせて、通勤ラッシュと被らないようにするなどの方法も考えていただきたい。

(廃棄物対策課) 一般の家庭ごみの回収時間は市が「8時から」と委託しているが、業者からでるごみの収集時間は市が決めているものではない。業者とごみ収集業者が直接時間を決めている。家庭ごみの収集に関しては、ご意見を頂戴して、各社の状況をみて考えていく。

(会長) インクカートリッジは市役所に持ち込めば、無料で回収するという事か。

(廃棄物対策課) 回収する。

(委員) 安曇野市空家等対策計画の「問題がある空家等の状況」の「建物の劣化が酷く、悪影響が心配または既に悪影響が及んでいる空家」は108件ということだが、所有者は全て把握しているのか。

(環境課) 108件の空家の所有者は把握している。今後心配される、相続放棄をして所有者が誰もいないという場合の対応について検討していく。「建物の劣化が酷く、悪影響が心配または既に悪影響が及んでいる空家」は108件だが、市街地だけではなく山間地も含まれている。隣地にすぐに影響があるかということそうではないものも含まれる。今まで、特定空家に認定された件数は12件。現在は7件。いずれも行政代執行まで至らず、所有者またはその関係者の協力を得て対応している。市としても、最終的に行政代執行をすると所有者の不利益が大きいということの説明し、補助金を活用してもらいながら対応していただきたい。

(委員) 108件は、指導や勧告というところまでいっているのか。

(環境課) 108件の中に特定空家と認定されているのが7件。特定空家の認定の基準には周辺の自治体で差がある。安曇野市の場合は、苦情があつてから2、3年まったく改善が見られず、近隣住民や区長から「何とかしてほしい」という要望が強い空家については、行政として強い指導をしていくためにも、特定空家の調査、指導に入る。

(委員) 空家の処理をどうするのかという対策も必要だが、若い人の声を聞き活用できるアイデアや安曇野のブランド力を前向きに広げていってもらいたい。空家のリフォームやDIYなどを広報に掲載し、明るい展望が感じられるものにしてほしい。

(環境課) 令和3年度の市民協働事業の空家対策推進事業として、2つの市民団体から応募をいただいた。1つは明科駅周辺まちづくり委員会の方に提案していただいた。明科駅周辺の空家を活用して、多くの人が集まり、賑わいを創出する利活用を希望する方を募集している。年間4回のまち歩きイベントを予定しており、その中で空家を利用したい方と空家の所有者が立ち合い、利活用につなげていく活動をしていく。年度末に活動の報告も踏まえて、市民の皆さんにお知らせしていく予定。ワークショップも計画している。

(午後3時30分 議事終了 閉会)

【今後の予定】

・7月7日 第2回環境審議会